



中学校々庭から見た古館跡（昭和49年写）

館跡は、四方が開放され、町内は勿論、掛田の茶白山、蔵王、霊山の一部まで見晴せる絶景の地であります。

椿館の支城

古館跡（清水館）

電々公社の西側の山、出夫山の山頂附近がかつて「清水館」と称され、今は古館Ⅱふんだてと呼ばれている館跡です。登り口にはいまも古い井戸が残っており、古くからの清水といわれて、ごく最近まで使用されておりました。館の名と結びついて伝わっています。

館主は、福島椿館主の岩城政氏の臣、八巻某と伝えられています。また、当所を佐藤民部の居た所と推定している（信達二郡村誌）ものもあります。かつては、広瀬川がすぐ下を流れ、天然の要害だったものとみられます。